

首都圏キットがオンライン開催

# 新春公開講演会

【東京】首都圏キット

ト利用協同組合（伊藤和夫理事長）は4日、令和3年新春公開講演会をオンラインで開催した。

同講演会は例年、ホテルの会場で交流会も兼ねて行われていたが、緊急事態宣言下のためオンラインに切り替えて開催

された。

同理事長は、昨年について、「誰もが経験のない異例ずくめとなる厳しい一年となった」とし、

「3密の回避をはじめめとする新たな生活様式が求められるなかで、経済停滞と荷動きの悪化で、それまで好調であった

ウェブキットの取引

や、上昇基調にあった運賃も後戻りを余儀なくされた」とする一方で、組合について、「設立以来

23年が経過し、組合員数が現在までに360社となり、引き続き成長を続けている」とし、「組合の将来ビジョンにおい

て、組合員数、50

0社を目指すこととし取り組んでいる」とした上で、「相互扶助の精神のもとで、

キット事業を中心に組合員サービスの向上に努めていきたい」とあいさつ、組合員のさらなる協力を求めた。

講演では、日通総研の大島弘明取締役が、「物流を取り巻く環境変化と物流現場の働き方改革や標準運賃の動向などを中心に」というテーマで、働き方改革を迫られている業界の現状、さらにこの対応のための標準的運賃などについて、講演した。



なお、今回の講演会を聴き逃した組合員は、開催から一か月間、組合のホームページで視聴することができます。

（高田直樹）